

## 2019年度 公益財団法人新潟市海洋河川文化財団 事業計画

### 事業概要

#### 【期 間】

2019年4月1日から2020年3月31日まで

#### 【概 要】

当財団は公益法人として、公益法人制度の趣旨に鑑み、教育文化の普及啓発事業の一層の充実を図っていくとともに、新潟市水族館の指定管理者として、2019年度から単独で5年間の指定を受けたため、今まで以上に入館者へ良好なサービスを維持・向上に努め、適正な施設の管理運営を行っていく。

また、新たに「学びのデザイン室」を設置し、今まで以上に、学習、教育、普及事業を強化していく。

その他、2020年には、開館から30年となることから、30周年記念事業の企画、検討も進めていく。

#### 【事業名】

##### 公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
- 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

##### 収益事業

- 1 施設管理に付帯する事業

### 公益目的事業

#### 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

##### 【事業目的】

新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。

##### 【主な事業内容】

###### (1) 海洋・河川文化の普及啓発

区 分	名 称	プログラム等	内 容
体験学習	田んぼ体験	田植え	稲作体験（田植え・稲刈り・脱穀）と、収穫したわら

		稲刈り	を利用したわら細工体験を通して、新潟での稲作や水田漁労などの文化、田んぼの環境や生息生物と人との関係を学ぶ機会とする。
		脱穀	
		わら細工	
	野外体験教室	川の生き物観察会	川の生き物を採集し観察することで、河川環境と人間活動のつながりを考えるきっかけとする。
		スナガニ野外観察会	砂浜に巣穴を作って生活するスナガニの採集や観察を行うことで、多様な生き物を育む砂浜と砂浜の減少について考える機会とする。
講演会	大人向け講演会	日本海区水産研究所の研究者	日本海の環境や水産生物について、第一線の研究者を招聘し講演会をおこなう。近隣にある研究所との連携事業として位置づけられる。
	研究者が語る講演会	様々な分野の研究者	鯨類研究について、多角的な視点から研究者を招聘し講演会をおこなう。
各種施設との連携	出展展示	未定	未定
	社会教育施設連携	水族館で潟普請	新潟市歴史博物館との連携プログラム。新潟で古くから行われてきた潟普請をにいがたフィールドの砂丘湖と水路・田んぼで体験することで、潟環境の維持管理の方法を学ぶ。また、水田に生息する生物と人との関わり方について講義で紹介する。
	学校教育施設連携	校外学習の受入	水に棲む生物や飼育・環境に関する情報を学校からの質問に合わせて、写真や資料を用いて伝える。

## (2) 海洋・河川文化の調査研究

区分	名称	内容
研究発表	J A Z A (日本動物園水族館協会) 関連	水族館技術者研究会、海獣技術者研究会など
	その他研究会・学会	日本動物園水族館教育研究会、さけ・ます等栽培対象資源対策事業など
各種会議	J A Z A (日本動物園水族館協会) 関連	設備会議、事務主任者会議、ワークショップ、魚類作業部会など
	その他会議	J A C R E (日本鯨類研究協議会) 会議、J A C R E トレーニングセミナーなど

## (3) 海洋・河川文化の保護保全 (生物種の保全を含む)

区分	名称	内容・回数
生息域内保全	シナイモツゴ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
	ハクバサンショウウオ調査	糸魚川市の両生類の生息調査・2回

	ホトケドジョウ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
	キタノアカヒレタビ ラ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
連携調査	R O V (水中探査機)	寺泊沖で深海生物の調査・2回
	親子魚探検 (五泉・ 新発田)	生物多様性保全ネットワーク主催の自然観察会への講師派遣・2回
	水あぶり・堤観察会 (関川)	タランベクラブの自然観察会への講師派遣・2回

## 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

### 【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

### 【主な事業内容】

#### (1) 水生生物に関する知識の普及振興

名称	プログラム	内容
いきもの教室	イルカを調べてみよう	パネル、写真、標本を使った講義から生態や飼育管理を学び、イルカの生体を観察する。
	みてみてクラゲ	クラゲを間近で観察しながら、体のつくりやクラゲの一生について説明をし、体験的に知ってもらう機会とする。
	カワウソになってみよう	カワウソについての生態や現状をクイズやゲームを使って解説する。
	ペンギンの羽根と卵	フンボルトペンギンの羽根と卵に注目しながら観察を行い、卵のレプリカづくりを行う。
	貝の標本づくり	水族館横の海岸にて参加者が実際に貝の採集を行い、採集した貝を用い、種の特長と標本作成の手順を学び実践する。
	プランクトンの観察	地先海岸でプランクトンネットを用いてプランクトン採集を行い、採集したプランクトンを小型顕微鏡で観察する。
	アシカとアザラシを知ろう	観覧通路やバックヤードで、飼育員の解説を聞きながら動物を観察する。毛皮などを見て、触って体のつくりを学ぶ。
	カエルの解剖	脊椎動物の体の仕組み、カエル特有の外部形態、解剖後の内臓の観察を行う。
	魚拓を作ろう	魚を観察し、絵を描いたり触ったりする。各部をよく観察して形態や機能を確認したのち、魚拓を作成する。
生きものホネホネ観察	様々な生きものの骨を観察して、それぞれの形を比べる。	
企画展示	海の危険生物 (仮)	海に生息する危険生物 (毒を持つ、鋭い棘を持つなど) を展示

		し、毒を持つ理由やそのような形態になった理由などについて紹介する。
	新潟の淡水エビ・カニ(仮)	新潟県内の淡水域に生息するエビ・カニについて生体とパネルを用いて展示する。国外外来種についても問題提起する。
	フォトコンテスト	来館者が当館で撮影した写真を公募し、コンテストを行う。
	クラゲ展	身近な新潟の海でも観察できる生きものとして、クラゲの基礎情報や新潟の出現カレンダーを紹介する。
参加型イベント	にいがたフィールドガイド	にいがたフィールドを用い自然環境と希少生物の域外保全を紹介する。季節変化を感じられるように定期イベントとする。
	スナガニ調査	スナガニ調査中の職員が参加者(当日募集)にスナガニの観察・採集方法や体のつくり等について解説する。
	イルカバックヤードミニガイド	バックヤードやステージを解説しながら案内する。
	育成室開放	通常入室できない本館地下の育成室を、職員立ち会いのもと入館者に開放する。
	いきもの絵本読み聞かせ会	アクアラボにある絵本の読み聞かせと、その本に関わる生物についての標本やパネルを使ったレクチャーを行う。
記念日イベント	世界ペンギンの日	4/25は世界ペンギンの日とされている。普段の展示を見るだけではわからないペンギンの生態や野生の現状について理解を深めてもらう。
	世界カワウソの日	ユーラシアカワウソの給餌解説、アクアラボ内にて缶バッチづくり、毛皮の展示、簡単なガイドを実施、カワウソ類のぬりえ等を用意する。
特別ガイドツアー	ナイトツアー	通常観ることのできない閉館後の夜の水槽を観察しながら、昼と夜での生き物の活動の違いや外観の変化等をツアーガイド形式で解説し、水生生物の生態や自然環境への関心を深めてもらう。
大人向け教室	写真教室	フォトコンテストとの連携で撮影の工夫について職員がレクチャーし、楽しみの幅を広げる。

## (2) 水生生物の収集、飼育、展示

区分	名称	内容・回数
飼育展示	館内での飼育展示	600種30,000点を超える飼育規模を維持
常設解説	イルカショー	イルカの認知、行動能力などを解説する・4～5回/日
	マリンサファリ給餌解説	トドに餌を与えながら、体のつくりや生態について解説を行う・2回/日
	ペンギン解説	ペンギンの分類や生態、生息地の環境について解説を行う・2回/日

	ラッコの給餌タイム	ラッコが餌を食べる様子を見てもらう・4回/日
	日本海大水槽解説	大水槽の展示生物の紹介や海洋環境に関する知識の普及、水族館のしくみを解説する・1~2回/日
	磯のいきもの解説	磯の生きものについて解説を行う・1回/日
	アクアラボ体験プログラム	C C D 顕微鏡や大型モニターを用いて海の生物の実験的な解説を行う・1回/日
生物収集	相模湾乗船	キンメダイ、シキシマハナダイなど乗船採集・2回
	沼津乗船	クロホシイシモチなど乗船採集・3回
	佐渡乗船	エビカゴ漁乗船採集（深海生物）、定置網調査など・5回
	寺泊乗船	アカムツ漁乗船採集（深海生物）・5回
	岩船乗船	アカアマダイ漁乗船採集（深海生物）・2回
	出雲崎	アマモ場生物採集・6回
	能生乗船	ベニズワイ漁乗船採集（深海生物）・2回
	間瀬乗船	ハツメ・アズマハナダイなど乗船採集・4回
	高知（以布利）	マダラトビエイなど採集・1回
	島根（隠岐）	スマ・ハガツオなど採集・1回
	山形（飛鳥）	加茂水族館との共同採集・1回
	寺泊・間瀬	深海生物収集・10回
	巻	クラゲ採集・10回
生物交換	ふくしま海洋科学館	マイワシなど・10回
	東海大学海洋科学博物館	キンメダイなど・1回
	のとじま臨海公園水族館	マダラなど・3回

## 収益事業

### 1 施設管理に付帯する事業

#### 【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置を行う。

#### 【主な事業内容】

区分	設置数・場所
レストラン	1ヶ所・本館2階
軽食	2ヶ所・屋外、屋上 ※季節・天候により営業中止
移動販売車	1ヶ所・アプローチ棟手前 ※季節・天候により営業中止
売店	1ヶ所・アプローチ棟
自動販売機	17ヶ所・館内各所
ロッカー	1ヶ所・アプローチ棟
記念メダル	2ヶ所・本館1階
プリクラ	1ヶ所・水辺の小動物